

# 第14回 JCHO 若狭高浜病院地域協議会 議事概要

【日 時】 令和5年10月24日(火)

【場 所】 若狭高浜病院 2階会議室

【参加者】 四方 啓裕 (福井県嶺南振興局若狭健康福祉センター 医幹)  
山下 泰央 (高浜町保健福祉課長)  
秦 幹朗 (若狭消防組合高浜分署長 代理)  
井階 友貴 (小浜市医師会)  
河島 浩彦 (高浜町議会議員)  
廣瀬 とし子 (高浜町議会議員)  
横田 行雄 (たかはま地域医療サポーターの会)  
秋野 裕信 (若狭高浜病院院長)  
治面地 義和 (事務長)  
猪子 弘美 (看護部長)  
西原 明広 (老健副施設長)  
新田 靖之 (副看護部長)  
中川 雅光 (事務長補佐【経理】)  
吉田 健一 (事務長補佐【医事】)  
堀 喜彦 (事務局)  
海透 優太 (整形外科医長兼臨床研修センター長 / オブザーバー)

【議題・概要】

## 1 若狭高浜病院の現状報告

当院の現状報告として、吉田事務長補佐より、以下の項目を中心に資料を基に説明した。

- ① 収益状況について
- ② 外来・通所リハ・訪問看護の患者(利用者)数について
- ③ 紹介状況
- ④ 救急医療確保状況
- ⑤ 病児・病後児利用状況

- ⑥ 令和 4 年度患者満足度調査結果
- ⑦ 地域貢献活動状況

## 2 若狭高浜病院の取り組み

当院の取り組みについて、治面地事務長ならびに猪子看護部長より、以下の項目を中心に資料を基に説明した。

### ●治面地事務長：

- ① 今後の経営状況予想について
- ② 訪問看護ステーションの休止と再開について
- ③ 地域医療連携体制構築にかかる協働連携に関する 3 者協定
- ④ 高浜町版「チームオレンジ」への協力について
- ⑤ 委員からのご質問について
- ⑥ 前回の地域協議会のご意見を受け改善した事項

### ●猪子看護部長：

- ① 特定行為研修について
- ② 当院の認知症看護認定看護師、透析看護認定看護師の活動内容、研修内容について
- ③ 認定看護師とはどのようなものか

## 3 若狭高浜病院の COVID-19 対応の報告

当院における COVID-19 対応について、海透整形外科医長 臨床研修センター長より資料を基に報告した。

- ① ICT という組織について
- ② 外来部門での対応
- ③ 透析部門での対応
- ④ 入院管理部門での対応

## 4 委員からのご意見・ご質問

委員) 高浜病院に耳鼻科が開設されたが、最近では休止中のことについて、近況がどうなっているか教えていただきたいです。

病院) 耳鼻科に関しては、医師の都合で診療ができなくなり、廃止となりました。

委員) 病院からの説明にもありましたが、救急を受け入れなかった理由を教えてくださいたいです。

病院) 救急の断りについては今具体的なデータがないのではっきりしたことは言えませんが、おそらく他の患者さんの対応中だったのではないかと考えております。月ごとに断った理由を調査していますが、90%以上は受け入れております。専門外の患者さんや他の患者さんの対応中の場合は断っているのみで、その他の理由ではお断りはしていません。

委員) 説明の中で高浜中学校の2年生を対象に教育のイベントをしたとありましたが、どのようなイベントだったのか教えてくださいたいです。

病院) コロナで一時期中止していましたが、コロナ前は毎年実施しておりました。病院の職員と診療所の職員、役場の専門職の方、社会福祉協議会の専門職の方に来ていただき、医療介護系の職業をブースごとに分けて体験していただきました。学生達には非常に好評で、将来医療系に進みたいという意見もアンケートにございました。今回の特別授業の中で高浜中学校の職場体験会で当院を希望する学生が6名おり11月1、2日に受け入れ準備を進めています。

委員) 様々な取り組みについて説明いただき、ご同慶の至りです。保健所から見ますと、コロナ流行時、コロナ患者さんが行くところがなく全県右往左往されていました。しかし大飯郡においてあまり舞鶴側に右往左往する必要がなかったのは高浜病院さんのおかげでございます。検査や転院の対応も適切に行っていただきました。ますます明るく楽しく様々な試みをして盛り上げていただきたいと思えます。

委員) フィリピン出身の看護助手さんを導入しようとされていますが、どのレベルのフィリピンの方が来てくださるのでしょうか。

病院) EPA 制度でフィリピンから来ている方は大学院を出ている方と大学を出ている方で、非常に優秀な看護師で、フィリピンでライセンスを取得しオペネースとして7年間働いていた方と、産婦人科で働いていた方で、実績がある方たちです。たった2年で日本の看護師の国試に合格しました。今は3階病棟で新人看護師として教育の真っ最中です。それからフィリピン人の補助員というのは三方にある青池学園の学生さんになります。

委員) 病院の皆様いつもありがとうございます。今日の発表の中で状況についてよく分かりました。取り組みの内容もさることながら、普段一緒に働きながら感じていることは、院長先生をはじめ看護部長や事務長も近い距離間で接してくださることが財産でしかないと思っています。現場で感じることとしては、ICTの取り組みのおかげで町内に勤務する医療従事者としては安心して勤務を継続することができ、支えていただき感謝しかありません。教育についても、高浜町くらいの規模の町で230名ほどの研修生が町を出入りしていますが、これは全国探してもほぼほぼ無いことだと思います。

委員) たくさんお話を聞けて、改めて高浜病院が高浜町に大きく貢献いただいていることを再認識しました。医師の確保などいろいろな面で全面的に協力していきたいので、引き続きよろしく願いいたします。

委員) いろいろお話を聞いていますと、病院の宿泊設備が劣悪であるという話を聞きます。そのフォローをできるだけ行政にしていいただければと思います。

委員) それについて、周辺にルートインも出来たので、そういったところも活用しながら補助できればと思います。

委員) 高浜病院の皆様が非常に良い取り組みをしていただいていることを改めて感じました。若者の声を聴いていると、高浜病院は必要かなという声を聴きます。今日聞かせていただいたこと、高浜病院の重要性を私なりにしっかり伝えていければなと思いました。

委員) いつも救急車の受け入れをありがとうございます。どうしても高浜町が端にある関係で、なかなか高浜病院で受け入れていただけないと、搬送距離が長くなってしまい救急車の無い時が多くなってしまっているので助かっています。救命士は私を含め5人で活動していますが、その中で若い救命士も現場で活動しております。受け入れ要請があったときにいろいろなアドバイスを頂いて、顔の見える環境を築いていただいで活動していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。